

立命館大学 OIC 総合研究機構 サステナビリティ学研究センター

(独)環境再生保全機構「環境研究総合推進費(S-13)」プロジェクト

## シンポジウム

# 「改めて考える『里海』」

2018年9月12日(水)13時30分～17時45分

立命館いばらきフューチャープラザ(立命館大学大阪いばらきキャンパス B 棟)

1 階「カンファレンスホール」

**参加無料、事前申し込み制(先着 100 名さまに達し次第締切)**



左: 岡山県備前市の日生地区(瀬戸内海) 右: 石川県七尾市の七尾湾

日本は海に囲まれ、これまで海と共に生きてきました。1998年、柳哲雄先生(現:九州大学名誉教授、国際エメックスセンター特別研究員)が「人手が加わることで生物多様性と生産性が高くなった沿岸海域」を「里海」と定義してから、今年はその20周年という節目の年です。現在、「里海」は海外でも「Sato-Umi」として紹介され、世界各地に広がりを見せています。

今回のシンポジウムでは、ご来場のみなさまとともに、里海について改めて考え、議論することが出来ればと考えます。

主催: 立命館大学 OIC 総合研究機構 サステナビリティ学研究センター

(独)環境再生保全機構「環境研究総合推進費(S-13)」テーマ 4

共催: 公益財団法人 国際エメックスセンター 後援: 水資源・環境同好会

※立命館大学大阪いばらきキャンパスは、キャンパス内全面禁煙となっております。

また、駐車場・駐輪場の用意がありませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

JR 茨木駅(東口)より徒歩 6 分、阪急電車・大阪モノレール南茨木駅より徒歩 15 分、

京阪枚方市駅・阪急南茨木駅より、京阪バス「9 号系統」で立命館大学(岩倉公園前)下車すぐ

**※本シンポジウムは、(独)環境再生保全機構・環境研究総合推進費(S-13)の  
研究成果を、社会のみなさまに還元する目的で実施しております。**

プログラム案(7月25日現在)

時刻	内容
13時00分	開場および受付開始(会場入口前)
13時30分~13時40分	開会挨拶ならびに 環境研究総合推進費(S-13)テーマ4「沿岸海域の生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデルの提示」の概要紹介 仲上 健一 (テーマ4代表、立命館大学政策科学部特別任用教授)
13時40分~15時30分	研究成果の報告とそれを受けた討論 報告者: 吉岡泰亮(立命館大学 OIC 総合研究機構 専門研究員) 桜井 良(立命館大学政策科学部 准教授) 日高 健(近畿大学産業理工学部 教授) 印南敏秀(愛知大学地域政策学部 教授) 清野聡子(九州大学大学院工学研究院 准教授)
15時30分~15時45分	休憩
15時45分~16時25分	基調講演 「国際政策を通して考える里海政策」 高山 進(三重大学 名誉教授)
16時25分~17時35分	パネルディスカッション パネリスト: 柳 哲雄(S-13 プロジェクトリーダー、国際エメックスセンター特別研究員) 高山 進 桜井 良、日高 健、印南敏秀、清野聡子 コーディネーター: 仲上健一
17時35分~17時45分	閉会挨拶: 柳哲雄(S-13 プロジェクトリーダー、国際エメックスセンター特別研究員)

※18時00分~20時00分、研究交流会を開催します(キャンパス内もしくは近隣、会費4,000円予定)

**参加のお申し込みについて(なるべく電子メールでお願いします)**

参加をご希望の方は、お名前、ご所属、メールアドレス、研究交流会への参加希望の有無を明記の上、下記の担当者までお申し込みください。メールの件名を「9/12 シンポジウム参加申込」として頂けると、スムーズな受付が出来るかと思えます。

本件担当: 立命館大学 OIC 総合研究機構 サステナビリティ学研究センター 専門研究員 吉岡泰亮  
電子メール: tyt14500@fc.ritsumei.ac.jp (お申し込みを頂いた場合、3日以内にお返事を差し上げます)

※電子メールをご利用いただけない場合は、FAX(072-665-2565。TEL 兼用です)でも承ります。

※土休日、および7/30~8/1と8/6、8/10~8/20、8/24~8/27は不在につき、TEL・FAXへの対応が出来ません。ご了承ください。